

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定  
家庭医療後期研修プログラム認定申請書  
(改訂家庭医療後期研修プログラムの認定に関する細則に基づくもの)

2013年 12月 19日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会  
理 事 長 殿

以下に記載した内容で、貴学会認定家庭医療後期研修プログラムとして認定していただけますよう申請いたします。

申請者\*署名 (自署)

\*申請者はプログラム責任者になる予定の方です。

\*電子ファイルで提出し、このページのみ署名の上郵送またはスキャンファイルで送付して下さい。

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

1. 名称 (他のプログラムと容易に区別できること)
かまいし総合診療専門医養成後期研修プログラム

2. プログラム責任者			
氏名	遠野千尋	指導医認定番号	2013-331 号
所属・役職	岩手県立釜石病院 副院長		
所在地・連絡先	住所 〒026-8550 岩手県釜石市甲子町 10-483-6 電話 0193-25-2011 FAX 0193-23-9479 E-mail tonosan007@gmail.com		
連絡担当者氏名*・役職	* プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載		
連絡先*	電話	FAX	
	E-mail		

3. 後期研修医定員
1 年あたり ( 2 ) 名 ( ×研修期間年数 = 総定員 6 名 )
※総合診療専門研修 I および II において、常勤の要綱 28 条に定める認定指導医を、その部署で同時に研修する後期研修医 3 名に対して 1 名以上配置できる人数に留めること。

4. プログラムの期間
(3) 年間

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

### 5. 概要

釜石医療圏は釜石市および大槌町で構成され、人口は5万人です（釜石市37000人、大槌町13000人）。岩手県立釜石病院はベッド数272床の急性期病院で、この医療圏の救急患者さんをほぼ一手に受け入れています。基本理念は患者さん中心の安全で良質な医療の提供を目指すことです。また、基本方針が全6項目ありますが、その1項目として地域に密着した医療を提供するため、他の医療機関、施設との連携を推進することを詠っています。

そのなかで、近年の地域医療の崩壊に伴い、釜石医療圏では2009年から2013年の5か年計画で地域医療再生計画事業が推進されています。医療圏の各医療機関が担っている機能を明確化し、切れ目のない医療システムの構築を図ることが目標です。具体例としては急性期は当院が担当し、回復期は当院および医療圏内の他の2病院（せいてつ記念病院、釜石のぞみ病院）も担当します。さらに維持期は在宅などで日常生活機能維持、向上に関して前記2病院の他、国立病院機構釜石病院、1往診医院（釜石ファミリークリニック）、介護老人保健施設、一般開業医が担当します。その役割分担により、県立釜石病院の機能強化が図られました。また、急性期を担う当院の医師の負担が年々過酷になり退職などで地域医療が崩壊することが危惧され2009年から市民率先の県立釜石病院サポーターズが発足し病院ボランティア、医療勉強会、市民への啓蒙活動など私たち勤務医を支える活動が活発化していました。

そこへ2011年3月に震災が発生し、すべての計画が頓挫しました。しかし、徐々に各病院、医院の機能が回復し現在ではこれまで構築してきた軌道に戻っています。釜石市の方針としても、2012年7月に国の在宅医療連携拠点事業を受託し、釜石医師会と市職員で構成する「チームかまいし」を発足させ、在宅医療の更なる推進を目指し医療、介護、福祉の多様な分野の連携を企画します。また、2013年3月には、かまいしおおつち医療情報ネットワークが構築されました。これは、釜石医療圏内の医療関係機関などで患者さんの情報を共有することにより効率の良い医療を提供することを目的としたシステムで、釜石市役所保健福祉部内にある釜石、大槌地域医療連携推進協議会が運営し、当院を含め、釜石医療圏の複数の医療機関が参加しています。現在は病院、医院のみの情報共有ですが、今後は介護施設、訪問看護ステーション、調剤薬局、歯科医院、地域包括支援センター、釜石市、大槌町、釜石保健所などが参加します。このような連携機能が強化された医療圏で総合医として後期研修を行うことは、背景の地域、生活を考えながらひとりの患者さんの健康と幸せをコーディネートする全人的医療人が育成されることに繋がると確信します。

### モデルとなるローテーション例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	必修内科						必修小児科			必修救急		
2年目	総合診療専門研修Ⅰ（診療所、小病院）＋領域別研修（1日/週）[精神科、外科]											
3年目	総合診療専門研修Ⅱ（病院総合診療部門）						領域別研修[整形外科]			領域別研修[産婦人科]		

### プログラムの全体構成（月単位の換算による）

総合診療 専門研修	総合診療専門研修Ⅰ ( 12 ) カ月		総合診療専門研修Ⅱ ( 6 ) カ月	
領域別 研修	内科 ( 6 ) カ月	小児科 ( 3 ) カ月	救急科 ( 3 ) カ月	その他 ( 6 ) カ月

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

<b>6-1. 総合診療専門研修 I</b>		
研修施設名 1	釜石ファミリークリニック	診療科名 ( 内科 )
施設情報	<input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院	病院病床数 (    ) 床    診療科病床数 (    ) 床
総合診療専門研修 I における研修期間	(12) カ月	
研修期間の分割	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
研修期間の分割について具体的に記入してください		
指導医氏名 1	寺田尚弘	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤
学会認定指導医資格	<input type="checkbox"/> 有 ( 認定番号 :    ) <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指導医氏名 2	上村明	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤
学会認定指導医資格	<input type="checkbox"/> 有 ( 認定番号 :    ) <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指導医氏名 3		<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤
学会認定指導医資格	<input type="checkbox"/> 有 ( 認定番号 :    ) <input type="checkbox"/> 無	
※常勤指導医を確保できない場合、別紙指導医の特例についての申請書を添付すること		
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))		
<b>ケアの内容</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加		
<b>施設要件</b>		
<input type="checkbox"/> 患者層：研修医の経験する症例は、学童期以下が5%以上、後期高齢者が10%以上である。 <input checked="" type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他の方法で研修を補完している。(※下記に具体例を記入ください) (釜石市中心部に位置する当クリニックでは少子化、空洞現象により中心部の学童の人口に占める割合も低下しており受診者での割合も低下し、5%を割っている。ただし後期高齢者が40%以上であり、少ないといえど学童以下の小児の受診は断らず診療しており、地域医療という点では不足ないとする。		
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている。 具体的な体制と方略 (夜間も24時間体制で患者の往診要請に対応している)		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する。 具体的な体制と方略 (往診では継続して定期的な診療に携わるので一人一人の患者さんと長期に関わる)		
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当。 具体的な体制と方略 (日常診療のみならず、釜石市のチーム釜石との連携も強固であることから住民の疾病予防健康増進教育に関わることが多い)		
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する。 具体的な体制と方略 (釜石医療圏の病院からの退院から在宅療養までの流れの中心的役割を担っており、介護福祉機関との共同で実際の在宅療養を確立している)		
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する。 具体的な体制と方略 (プライマリーケア医として多様な疾患に関わることでインフルエンザ流行期の家族内感染などの治療、教育にあたる)		
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する。 具体的な体制と方略 (釜石市役所、釜石保健所との連携で住民健康教育として出前講座などを開催している)		

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

■在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している。  
具体的な体制と方略  
(本クリニックの診療の本幹で職員が交代で夜間、休日を担当し24時間、365日の診療体制を確立している)

週当たり研修日数：( 5 ) 日

総合診療専門研修Ⅰの研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数  
内容 精神科病院の外来実習など

日数 1日/週

※研修施設が3箇所以上にあたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること。

<b>6-2. 総合診療専門研修Ⅱ</b>		
研修施設名1	岩手県立釜石病院	診療科名 ( 総合診療科 )
施設情報	病院病床数 (272) 床	診療科病床数 ( 20 ) 床
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	(6) カ月	
研修期間の分割	■なし □あり	
研修期間の分割について具体的に記入してください		
指導医氏名1	米田 哲 認定医番号 2012-098 号	■常勤 □非常勤
学会認定指導医資格	■有 (認定番号： 2013-158 号 ) □無	
指導医氏名2	佐藤俊郎 認定医番号 2012-640	■常勤 □非常勤
学会認定指導医資格	□有 (認定番号： 指導医申請予定 ) ■無	
指導医氏名3	遠野千尋 認定医番号 2013-331	■常勤 □非常勤
学会認定指導医資格	■有 (認定番号： 2013-331 ) □無	
常勤指導医を確保できない場合、別紙指導医の特例についての申請書を添付すること		
要件 (各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))		
<b>ケアの内容</b>		
■病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。		
■外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する。		
<b>施設要件</b>		
■一般病床を有する		
■救急医療を提供している		
病棟診療：以下の全てを行っていること		
■高齢者 (特に虚弱) ケア 具体的な体制と方略 (入院患者の7割、外来患者の6割が高齢者であり特に介護を要する虚弱高齢者が多いことから総合診療科が窓口になり診療を担当することが多い)		
■複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略 (循環器科、消化器科などの内科的慢性疾患の患者で健康障害が発生した時には専門的治療を要さない場合は総合診療科で新入院に対応している。)		
■必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略 (当院に常勤する各診療科の専門性を要する治療が必要な時は各科に受け持ちを担当してもらうか、当科入院のまま加療をしてもらうことがある。したがって総合診療科入院でも専門性を必要とする治療は提供している)		
■心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略 (入院患者で、単なる疾病問題だけでなく心理、社会、倫理的問題のある複雑事例はソーシャルワーカー、退院支援専任看護師、院外の地域医療資源のスタッフなどと連絡をとりあい地域全体で解決を図れるよう連携を構築している。)		

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

<p>■癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略（院内緩和ケアチームとの連携があり、疼痛苦痛緩和に難渋するときはコンサルトにて総合診療科のスタッフだけでなく院内全体で緩和ケアに関わる体制を作っている）</p>
<p>■退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略（ソーシャルワーカー、退院支援専任看護師と協力し、患者、家族の希望の範囲で入院を要する場合は釜石のぞみ病院や国立病院機構釜石病院での療養目的の転院を協力していただいている。自宅退院の場合は釜石ファミリークリニックを中心とする在宅支援の医療資源を利用し訪問診療を釜石ファミリークリニックに依頼している）</p>
<p>■在宅患者の入院時対応 具体的な体制 （釜石ファミリークリニックの往診患者においても予想しない急変時には検査、加療目的に当院に緊急入院をする体制となっている。特に高齢者の看取りが近いと考えられる患者においては総合診療科が窓口になり入院を受け持つことが多い。）</p>

<p>外来診療：以下の診療全てを行っていること</p> <p>■救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略（救急外来においてかかりつけの患者はあらかじめ各科に診療依頼があり、各科が診療する。そのほかの場合の救急患者は専任救急専門医により初期治療が行われ、トリアージ及び重症患者では状態の安定化が行われる。その後、専門医療を要する場合は各科診療に引き継がれる。）</p>				
<p>■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略（前記の通りである。当院の内科的初診患者は明らかに消化器疾患、循環器疾患、脳神経疾患と判断される以外は、かかりつけ患者を除いて総合診療科が初期診療にあたる）</p>				
<p>■よくある症候と疾患 具体的な体制と方略（発熱、上気道炎、インフルエンザ、胃腸炎などよくある症状の時はかかりつけ患者を除き総合診療科が窓口になり初期診療に当たる）</p>				
<p>■臨床推論・EBM 具体的な体制と方略（総合診療科スタッフが中心となり、医局内の研修医、有志の医師らで月1回の英文抄読会を通してEBMの勉強会を開催している）</p>				
<p>■複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略（退院支援とも関連するが、退院後も社会的問題がある患者に関しては行政と連絡をとりあり来院自己中断などの対応をしている）</p>				
<p>■診断困難患者への対応 具体的な体制と方略（各診療科へのコンサルトやさらに高度の検査、治療を行う、県立中央病院や岩手医科大学への紹介などを通して診断、治療に滞りのないよう診療を進めている）</p>				
<p>週当たり研修日数：（ 5 ）日</p>				
<p>総合診療専門研修Ⅱの研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数</p>				
<table border="1"> <tr> <td>内容</td> <td>心療内科 眼科 耳鼻科 検査科 リハビリ科など。</td> </tr> <tr> <td>日数</td> <td>1日/週</td> </tr> </table>	内容	心療内科 眼科 耳鼻科 検査科 リハビリ科など。	日数	1日/週
内容	心療内科 眼科 耳鼻科 検査科 リハビリ科など。			
日数	1日/週			

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

6-2. 総合診療専門研修Ⅱ	
研修施設名 2	診療科名 ( )
施設情報	病院病床数 ( ) 床 診療科病床数 ( ) 床
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	( ) カ月
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
研修期間の分割について具体的に記入してください	
指導医氏名 1	<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤
学会認定指導医資格	<input type="checkbox"/> 有 (認定番号: ) <input type="checkbox"/> 無
指導医氏名 2	<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤
学会認定指導医資格	<input type="checkbox"/> 有 (認定番号: ) <input type="checkbox"/> 無
指導医氏名 3	<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤
学会認定指導医資格	<input type="checkbox"/> 有 (認定番号: ) <input type="checkbox"/> 無
常勤指導医を確保できない場合、別紙指導医の特例についての申請書を添付すること	
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (■のように))	
<b>ケアの内容</b>	
<input type="checkbox"/> 病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。	
<input type="checkbox"/> 外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する。	
<b>施設要件</b>	
<input type="checkbox"/> 一般病床を有する	
<input type="checkbox"/> 救急医療を提供している	
病棟診療：以下の全てを行っていること	
<input type="checkbox"/> 高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略 ( )	
<input type="checkbox"/> 複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略 ( )	
<input type="checkbox"/> 必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略 ( )	
<input type="checkbox"/> 心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略 ( )	
<input type="checkbox"/> 癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略 ( )	
<input type="checkbox"/> 退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略 ( )	
<input type="checkbox"/> 在宅患者の入院時対応 具体的な体制 ( )	

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

外来診療：以下の診療全てを行っていること <input type="checkbox"/> 救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略（ ）	
<input type="checkbox"/> 臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略（ ）	
<input type="checkbox"/> よくある症候と疾患 具体的な体制と方略（ ）	
<input type="checkbox"/> 臨床推論・EBM 具体的な体制と方略（ ）	
<input type="checkbox"/> 複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略（ ）	
<input type="checkbox"/> 診断困難患者への対応 具体的な体制と方略（ ）	
週当たり研修日数：（ ）日	
総合診療専門研修Ⅱの研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数	
内容	
日数	日/週

※研修施設が3箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること。



受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

<b>6-3. 領域別研修：内科</b>					
研修施設名 1	岩手県立釜石病院		診療科名（内科 循環器科 消化器科）		
病院病床数	(272) 床				
領域別研修（内科）における研修期間			(6) カ月		
指導医氏名 1	川上幹夫				
臨床経験年数	35 年				
有する認定医・専門医資格	日本内科学会認定医				
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））					
<b>ケアの内容</b>					
■病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する。					
<b>施設要件</b>					
■医師法第 16 条の 2 および関係省令で定める基幹型または協力型臨床研修病院である。					
■内科病床数が 50 床以上ある。			(70) 床		
■内科常勤医が 5 名以上いる。			( 5 ) 名		
■後期研修プログラムの認定に関する細則第 9 条(5)に定める指導医が病院全体として 3 名以上いる。 ( 5 ) 名					
週当たり研修日数：(5) 日					
領域別研修（内科）の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数					
内容	救急科 心療内科 検査科 リハビリ科など				
日数	1 日/週				
研修施設名 2			診療科名 ( )		
施設情報	病床数 ( ) 床				
領域別研修（内科）における研修期間			( ) カ月		
指導医氏名 1					
臨床経験年数	( ) 年				
有する認定医・専門医資格					
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））					
<b>ケアの内容</b>					
□病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する。					
<b>施設要件</b>					
□医師法第 16 条の 2 および関係省令で定める基幹型または協力型臨床研修病院である。					
□内科病床数が 50 床以上ある。			( ) 床		
□内科常勤医が 5 名以上いる。			( ) 名		
□後期研修プログラムの認定に関する細則第 9 条(5)に定める指導医が病院全体として 3 名以上いる。 ( ) 名					
週当たり研修日数：( ) 日					
領域別研修（内科）の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数					
内容					
日数	日/週				

※研修施設が 3 箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー＆ペーストして記載すること。

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

<b>6-4. 領域別研修：小児科</b>					
研修施設名 1	岩手県立釜石病院			診療科名 ( 小児科 )	
病院病床数	( 272 ) 床			診療科病床数 ( 20 ) 床	
領域別研修 (小児科) における研修期間			(3) カ月		
指導医氏名 1	平賀祥子				
臨床経験年数	(35) 年				
有する専門医資格	日本小児科学会認定小児科専門医				
要件 (各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))					
<b>ケアの内容</b>					
■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的によく遭遇する症候や疾患の対応を経験する。					
■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1次救急を中心に経験する。					
■病棟診療：日常的によく遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ。					
<b>施設要件</b>					
■小児領域における基本能力 (診断学、治療学、手技等) が修得できる。					
■小児科常勤医がいる。 (2) 名					
週当たり研修日数：(5) 日					
領域別研修 (小児科) の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数					
内容	救急科 心療内科など				
日数	1 日/週				
研修施設名 2				診療科名 ( )	
病院病床数	病床数 ( ) 床			診療科病床数 ( ) 床	
領域別研修 (小児科) における研修期間			( ) カ月		
指導医氏名 1					
臨床経験年数	( ) 年				
有する専門医資格					
要件 (各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))					
<b>ケアの内容</b>					
□外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的によく遭遇する症候や疾患の対応を経験する。					
□救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1次救急を中心に経験する。					
□病棟診療：日常的によく遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ。					
<b>施設要件</b>					
□小児領域における基本能力 (診断学、治療学、手技等) が修得できる。					
□小児科常勤医がいる。 ( ) 名					
週当たり研修日数：( ) 日					
領域別研修 (小児科) の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数					
内容					
日数	日/週				

※研修施設が3箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること。

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

<b>6-5. 領域別研修：救急科</b>			
研修施設名 1	岩手県立釜石病院		
病院病床数	( 272 ) 床	年間救急搬送件数	( 1500 ) 件
指導医氏名 1	今津正史		
要件 (各項目を満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))			
<b>ケアの内容</b>			
■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する。			
<b>施設要件</b> (下記のいずれか)			
□救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設			
■救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関 (救急搬送件数が年に 1000 件以上)			
<b>指導医要件</b>			
■救急科専門医あるいは救急に専従する医師			
ブロック研修、兼任研修のいずれかを選択し、□を塗りつぶす (■のように)			
■ブロック研修			
→領域別研修 (救急科) における研修期間 (3) カ月			
□兼任研修 _____			
→どの研修と組み合わせるか ( )			
週あたり研修日数 ( ) 日、研修期間 ( ) カ月			
週あたり研修日数：(1) 日			
領域別研修 (救急科) の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容	眼科 耳鼻科 小児科 外科など		
日数	1 日/週		
研修施設名 2	2		
病院病床数	( ) 床	年間救急搬送件数	( ) 件
指導医氏名 2			
要件 (各項目を満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))			
<b>ケアの内容</b>			
□救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する。			
<b>施設要件</b> (下記のいずれか)			
□救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設。			
□救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関 (救急搬送件数が年に 1000 件以上)。			
<b>指導医要件</b>			
□救急科専門医あるいは救急に専従する医師			
ブロック研修、兼任研修のいずれかを選択し、□を塗りつぶす (■のように)			
□ブロック研修			
→領域別研修 (救急科) における研修期間 ( ) カ月			
□兼任研修			
→どの研修と組み合わせるか ( )			
週あたり研修日数 ( ) 日、研修期間 ( ) カ月			
週あたり研修日数：( ) 日			
領域別研修 (救急科) の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容			
日数	日/週		

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

6-6. 領域別研修：その他						
研修領域	必修・ 選択別	ブロック・ 兼任の別	週あたり 研修日数 (兼任の場合)	研修期間	研修施設名と 診療科名	指導医氏名
一般外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	(5) 日	(3) カ月	岩手県立釜石病院	遠野千尋
整形外科	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日	(3) カ月	岩手県立釜石病院	遠藤寛興
精神科／ 心療内科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	(12) カ月	岩手県立釜石病院	宮村通典
産科婦人科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日	(3) カ月	岩手県立釜石病院	小笠原敏浩
皮膚科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( ) 日	( ) カ月		
泌尿器科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	(5) 日	(3) カ月	岩手県立釜石病院	佐藤一範
眼科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	( 6 ) カ月	岩手県立釜石病院	大関尚行
耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	( 1 ) 日	( 6 ) カ月	岩手県立釜石病院	嵯峨井俊
放射線科 (診断・撮影)	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日	( 3 ) カ月	岩手県立釜石病院	関澤玄一郎
臨床検査・ 生理検査	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	( 1 ) 日	(6) カ月	岩手県立釜石病院	小川宗義
リハビリ テーション	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	( 1 ) 日	( 6 ) カ月	岩手県立釜石病院	山部大輔
その他 ( )	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( ) 日	( ) カ月		
その他 ( )	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( ) 日	( ) カ月		

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

**7. 後期研修医の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、評価計画等具体的に）**

各科指導医とともに臨床研修の到達目標を設定し、その内容をプログラム責任者とともに吟味し決定する。到達目標に従い、提出レポートを定め、そのレポートの指導は各科指導医が行い、プログラム責任者が決裁する。さらに年2回開催の定期臨床研修管理委員会にて研修内容、レポート、その評価について委員会でも目標達成の成果を審議する。

**8. プログラムの質の向上・維持の方法**

各科指導医の転勤、退職があり得るので必須、選択、各科の研修の質、内容を十分な医療レベルに維持するのが困難になることがある。しかし岩手県では県内25の県立病院、県立地域診療センターの連携があるので、岩手県立病院、診療センターの協力を得て、指導医を招いたり、他院へ研修に赴くなどの方法でプログラムの質の向上、維持を図る。